

### 第6回臨時会

## ふれあいの森遊具 鳥見山多目的広場人工芝 38,626万円補正



遊具が更新されるふれあいの森

7月19日(金)に第6回臨時議会が開かれ、鳥見山公園多目的広場の人工芝化やふれあいの森の遊具更新等に約3億8千6百万円の補正予算が上程され、原案どおり可決しました。

これらの補正予算は福島定住等緊急支援交付金事業として、鳥見山公園多目的広場の人工芝化及びふれあいの森公園の遊具と人工芝そり場の更新整備が認められたことによるものです。

#### 第6回臨時議会 主な質疑

Q長田議員 鳥見山多目的広場の人工芝化は良いことだが、耐用年数が10年では、張り替えなどの費用として基金積立を考えているか。  
A教育課長 初期投資に2億6千万円かかるが、文教施設整備基金等の活用を検討したい。

Q今泉議員 3億もの交付金があるのは素晴らしい。子ども達の体力低下を懸念していたが、施設整備されるのは良いことだ。問題は施設を活用するソフト事業だが、どのように運用するのか。  
A町長 交付金事業にいち早く取り組んで補助が決定した。施設については低学年でも利用できるものとし、幅広い使用法としたい。人工芝の補償期間はどのようになっているか。  
Q木原議員 福島市や郡山市で同類のものを視察した。5年間は、ほとんど手がかからないとの事である。工事に関する補償は別途考慮する。



ふれあいの森人工芝も張り替えに

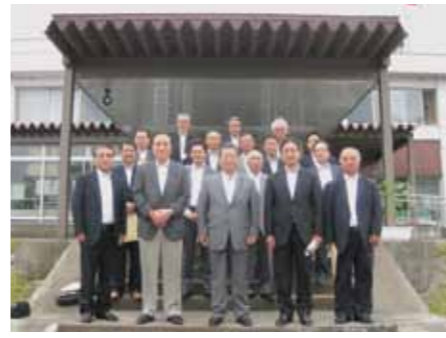
ふれあいの森の遊具については、様々な複数の遊具が組み合わされたコンビネーション遊具が設置される予定で、子どもの体力向上が図られます。また、人工芝そり場の人工芝も張り替えられます。

噴火による被害から多くを学び、平成12年の噴火では死者を出さなかった実績等を調査しました。

また、壮瞥町では「自然、火山とともに生きる」ことをテーマにまちづくりを展開。世界ジオパークにも加盟し、観光資源として活かしています。

京極町では観光商工業振興について、中でも「水」をテーマにしたまちづくりについて研修しました。

「蝦夷富士」とも呼ばれる羊蹄山からくる湧水地を整備し「ふきだし公園」として観光物産等の事業を展開。同町には年間64万人余の観光客が訪れている。



京極町役場にて議長、町長と一緒に

### 編集後記

昨年の総選挙に続き、7月の参議院議員選挙でも自民党が圧勝、しばらく続いた「衆参のねじれ」現象は解消されました。

政権の側は、これでやりたことは、ほとんどできることになったと大喜びの半面、「国民の側に立った権力をチェックする国会の本来の機能は大丈夫か」という懸念の声もあります。

ひるがえって、わが議会の姿を省みる時、与党絶対多数の中で「町民の視点・目線の町政の監視機能は十分に果たされているか」が議会に対して町民から常に問いかけられていることを、一人ひとりの議員は忘れては、いけないことではないかと思えます。

発行責任者 渡辺 定己

議長 渡辺 定己

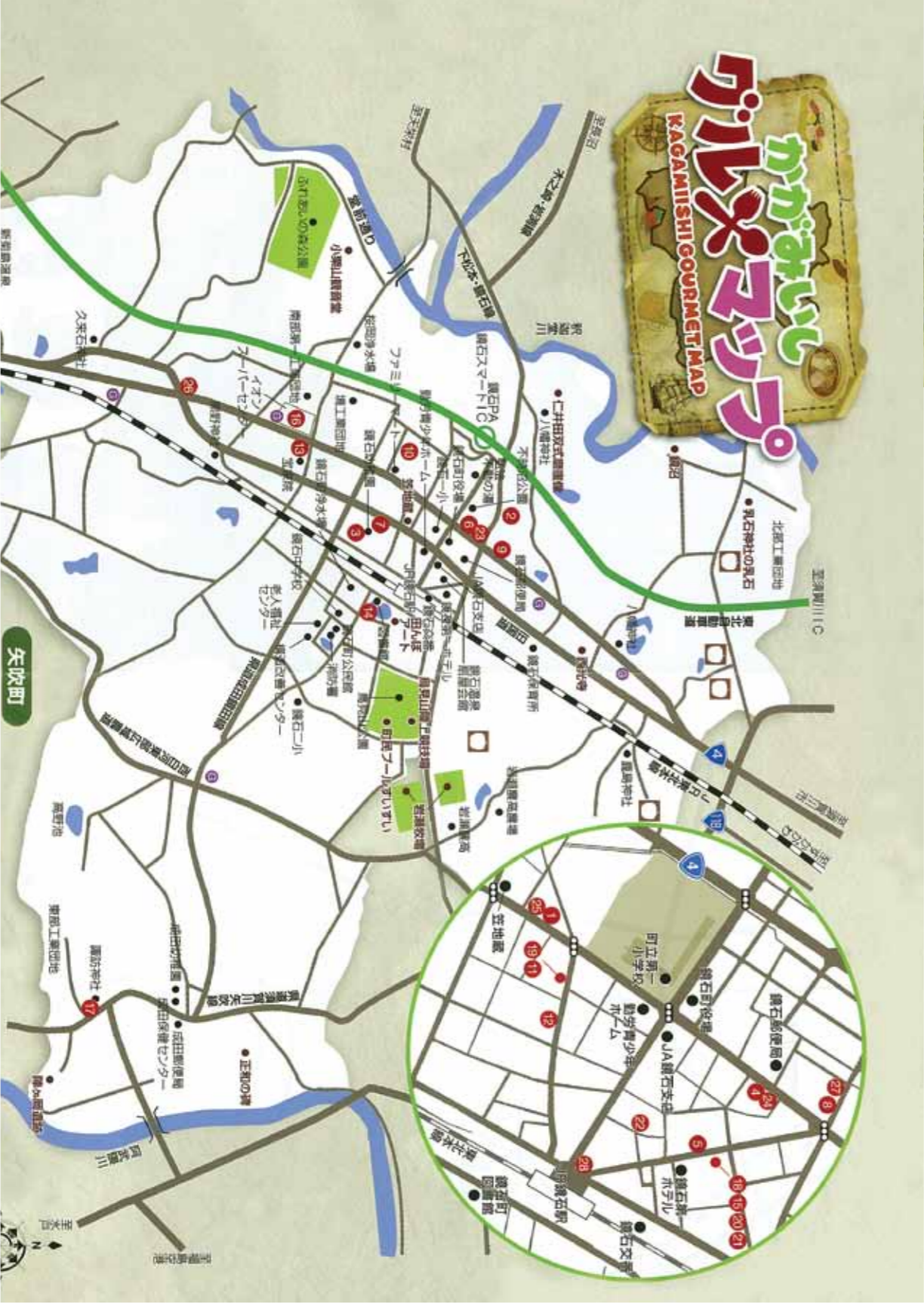
広報編集委員会

委員長	岡谷 寛
副委員長	菊地 洋
委員	長田 守弘
委員	井土川好高
委員	大河原正雄
委員	木原 秀男

### 行政視察研修

今年度の行政視察研修は7月4日(木)～6日(土)まで北海道の壮瞥町と京極町等で実施しました。

壮瞥町では「防災(安全)のまちづくり」について主に、有珠山噴火に対する防災体制を研修。過去数度に渡る火山



- 飲み食い処 大成
- 小料理 やまびこ
- 有限会社 アサヒフーズ
- とんかつ亭 ふるはうす
- 旬屋 (鏡石温泉馬屋会館)
- ろばた 味の旅
- 旬菊寿司
- 舞し割烹 とくさ
- サッポロラーメン みどり
- 食彩工房 花の木
- ホルモン焼 中央酒場
- PIZZERIA NASTRO (ナストロ)
- お好み焼 きみこ
- だるま食堂
- 居酒屋 NeNe (ネネ)
- 鏡石イオンスーパーセンター内のや
- 龍乃家
- 食彩酒菜のきらく
- 居酒屋 本陣
- 旬亭 吉兆
- 鉄板お好み焼き 味の里
- Chimney (チャニー)
- 華路里 食堂
- 末広寿し
- 中華食業 シェイシェイ
- 四号食堂
- 珈琲&スナック アップル
- はたのや

## 食べて歩いて観たくなる グルメマップ登場

今年の田んぼアートには、昨年を上回る観覧者が訪れています。町外からの来訪者等に鏡石の『味』を紹介。町観光協会発行のグルメマップが登場しました。

## かがみい 議会だより

No. 149  
平成25年 8月